

第2期広島市立大学塾活動報告【10月10日】

国際学部国際学科1年

長澤駿平

「自ら考え、判断し、行動できるリーダー」の育成を目的に、去年開講した広島市立大学塾(通称市大塾)の第2期プログラムがスタートしました。市大塾では毎週水曜日に、塾生が学部の枠を越えた多様なテーマについてのディスカッションを青木学長、塩田教授を交えながら行っています。

その記念すべき第1回目となったこの日の議題は宇宙飛行士です。『宇宙飛行士選抜試験』という本を通し、世界で活躍する人々がそれぞれ持つリーダーシップの違いや、選抜試験で10人の受験者の可否を分けた要素は何だったのかを議論しました。

初回から多くの塾生が議題の趣旨についての的を得た発言をしたり、自分の意見をより分かりやすく伝えるためにDVDを持参したりと予想以上に活発なディスカッションになり、市大塾第2期のスタートとしてとても良い滑り出しになったと思います。

今回の『宇宙飛行士選抜試験』のように、普段あまり触れる機会がない分野について深く考えてみることは、それまでの固定概念を捨て新たな発見を得るいい機会となります。これから市大塾でのディスカッションを通じて、様々なリーダーに関する情報をスポンジのように吸収し、リーダーシップに対する具体的なイメージを抱けるよう努力します。また、次回以降は塾生間だけでなく、青木塾長、塩田副塾長に対しても積極的に意見を述べるようにしたいです。